浜松開催

組織とデータをサイバー攻撃から守るプロフェッショナ

サイバーセキュリティ対策実践講座

主催　株式会社浜名湖国際頭脳センター
企画協力　株式会社アドウィル

巧妙化・悪質化するサイバー攻撃から組織が堅牢な防衛を行うには、最新の攻撃手法の理解と即時性あるインシデント対応能力が必須です。本講座はサイバーセキュリティ対策に詳しい専門家を講師として招き、**生成系 AI での脅威も含めたサイバー攻撃の最新動向を理解し、攻撃を早期に把握し分析する力を向上**させるための**実践的な知識・技術**を習得するものです。講座では**ダークウェブサイトの閲覧や解析ツールを用いた通信ログ解析、脆弱性の体験、Windows や Linux のログ調査など**今後のセキュリティ対策に役立つ手法を学びます。

［日程・テーマ］ **詳細**は**裏面**をご参照ください。　　＊1回ごとでもご受講いただけます

	日程	テーマ
第1回	6月13日（金） 10:00～16:00	サイバー攻撃の動向とダークウェブの実態 （1）IPA10大脅威　（2）攻撃グループや攻撃内容の動向 （3）企業に求められる対策　（4）ダークウェブの状況
第2回	6月19日（木） 10:00～16:00	通信ログの解析手法 （1）通信の仕組みについて　（2）通信状態の確認 （3）OSINT情報の活用
第3回	6月27日（金） 10:00～16:00	脆弱性の体験と Windows・Linux でのログ調査手法 （1）Webアプリケーションの脆弱性　（2）PCのフォレンジック （3）生成系AIの進化と脅威

［対　象］ 情報システム担当者・情報セキュリティ担当者
初級インフラエンジニア（サーバエンジニア、ネットワークエンジニア、セキュリティエンジニア）

［会　場］ アクトシティ浜松研修交流センター（浜松市中央区中央 3-9-1）

［講　師］ 但野　正行　氏（ValueUpLab 株式会社　代表取締役社長）
’18 年(株)Geolocation Technology 入社し、同年取締役 CTO 技術開発部部長に就任、’22 年に技術分野のフェロー。主に**サイバーセキュリティに関する業務や新技術の調査**を担当する。’24 年に ValueUpLab(株)を設立。これまでサイバーセキュリティに関する教育にも多く携わり、**全国規模での情報セキュリティ講師を担当し、800名以上を指導**した実績を持つ。**開発と講師のいずれも担える数少ないエンジニア**の一人である。’21 年から静岡県警察「サイバー犯罪対策テクニカルアドバイザー」も担う。本講座担当4年目で、毎年受講者からの評価も高い。

［定　員］ 各15名（最少催行人数各回5名）

［受講料］ 1回ごと **33,000**円（税別）/名（税込**36,300**円）
全3回セット **89,000**円（税別）/名（税込**97,900**円）

［その他］ ノートパソコンをご持参ください。

［お申込］ メールでお申込いただけます（**裏面**をご参照ください）
申込〆切　全3回セット…5月30日（金）　／　1回ごと…各回2週間前
＊キャンセルにつきましては、裏面「キャンセル及びキャンセル料について」をご参照ください。

〈静岡開催〉 同じ内容を静岡（男女共同参画センター「あざれあ」）でも開催します。
日程　第1回　6月12日(木)　第2回　6月18日(水)　第3回　6月23日(月)

［カリキュラム］

回	テーマ・日時	内　容
第1回	サイバー攻撃の動向と ダークウェブの実態 6月13日(金) 10:00～16:00	①IPA(情報処理推進機構)が毎年発表する「10大脅威」をサイバーセキュリティ専門家の視点で解説します。 ②最近のサイバー攻撃の内容やグループの動向の変化についてお伝えし、企業が実施すべき対策方法について技術面も含め学びます。 ③違法なアクセス先である「ダークウェブ」について、講義の中で講師がアクセスして受講者とともに閲覧し、ダークウェブの実態と脅威を認識します。
第2回	通信ログの解析手法 6月19日(木) 10:00～16:00	①OSIやTCP/IPなど通信の仕組みとサービスを理解します。 ②通信の仕組みとサービスを踏まえ、ネットワークプロトコル解析ソフト「Wireshark」を使い、通信状況の確認と解析の演習を行います。 ③一般に公開されている情報源でアクセスができるデータを収集して分析する「OSINT」情報のセキュリティでの活用方法について解説します。
第3回	脆弱性の体験とWindows・Linux でのログ調査手法 6月27日(金) 10:00～16:00	①Webアプリの脆弱性について解説するとともに、実際にWebアプリの脆弱性を体験して、状況の危険性を認識します。 ②Windows/Linuxでの各種ログの内容を知り、それを踏まえてログの調査・解析方法を演習で学びます。 ③ChatGPTの攻撃者の悪用など生成系AIがもたらす脅威について、生成系AIの進化との関連性も含め解説します。

＊内容は変更になる場合があります

受講者の声（抜粋）

「無償のセキュリティ講座では教えてもらえない深いところまであったので、参考になりました」

「表面をなぞった話だけではなく、実際にセキュリティインシデントの情報に触れている方の深い話をお伺いでき、とても勉強になりました」

「OSINTの知識については、初めて聞く情報ばかりでとても勉強になりました。また、自分の知識の再確認にもなり、とてもありがたかったです。OSINTはぜひ実践したいと思います」

「実演ができるとスクリプトインジェクション等の脅威度がわかりやすく、ためになる」

「実際に脆弱性のデモを体験できたのでとてもよかったです。脆弱性の情報はアンテナを高くして常に意識したいと思います」

［お申込方法］ 申込〆切：全3回セット…5月30日（金） ／ 1回ごと…各回2週間前

■送信先 jinzai@hamanako.co.jp

■件名 「サイバーセキュリティ対策講座浜松開催申込」

メールに以下をご記載の上、お送りください。

(1)貴社名
(2)ご住所(郵便番号)
(3)ご担当者 お名前(ふりがな)／部署・役職／電話番号／メールアドレス
(4)受講者 お名前(ふりがな)／部署・役職／メールアドレス／申込形式：全3回セットまたはご希望回

＊受講者が複数名いらっしゃいましたら、人数分ご記載ください。
＊受講者とご担当者が同じ方でしたら、その旨ご記載ください。
＊お送りいただいた情報は、本講座のご連絡のほか、今後の情報提供で利用する場合がございます。

キャンセル及びキャンセル料について

・キャンセルされる場合には、講座開催日(複数日開催の場合は開始日)10日前の17：00までに、メールまたはお電話でご連絡ください。それ以降のキャンセルにつきましては、原則として受講料の全額をご負担いただきます。
・受講者の変更は、キャンセル料は発生いたしません。

［お問い合わせ先］ -受講者数実績 53,000 名超-
株式会社浜名湖国際頭脳センター 担当：米良・佐藤
TEL：053-416-4002／Mail：jinzai@hamanako.co.jp

人材育成支援 Web サイト

Ver1.0